



AJET — JET 参加者と地域の方々との懸け橋

(一財)自治体国際化協会JETプログラム事業部

JET 参加者は2つの共通点があるといえますが、その1つは地域のコミュニティイベントなどに積極的に参加していること、またもう1つはボランティア活動を常に行っているということです。この「JET 参加者のボランティア精神」から、30年前AJET (the Association for Japan Exchange and Teaching) が生まれました。

「AJET」とは？

AJET は現役 JET 参加者によって構成されたボランティア団体です。JET プログラムと同時に設立されたこの団体の目標は、現役 JET 参加者をサポートしたり情報提供したりすることで、来日する JET 参加者がより早く日本での生活になじみ、住んでいる地域において活発に活動するメンバーになる手助けをしています。

AJET 全国役員について

AJET は、国と地域の2つのレベルで機能しており、国レベルでは AJET 全国役員会があります。その運営主体となるのは、選挙で選ばれ、自分の自由な時間をさまざまな活動に捧げる熱心な JET 参加者から構成された AJET 全国役員 (National AJET Council) です。役員は、現在の JET 参加者によって選出されるか任命され、通常4月または5月から1年間の任期と定められていますが、再選の場合、最長2年間務めることができます。

AJET 全国役員会は、現役 JET 参加者のために数多くの役立つ情報等を自身のウェブサイト (<https://ajet.net>) を通して提供しますが、その中には、レッスンプランの知恵袋、日本での生活や仕事のやり方に関するアドバイス、JET 参加者に役立つサービスやその他のウェブサイトへのリンクが紹介されています。また、ボランティア活動をはじめ、日本のファッション、スポーツ活動と健康に関するアドバイス、地域のイベントや日本の

伝統文化等といった幅広いテーマの記事が掲載されている AJET Connect というオンラインマガジンも毎月発行しています。

AJET 全国役員会の最も重要なサービスの中の1つは、秘密厳守を前提とした相談グループ「AJET Peer Support Group (PSG)」です。午後8時から翌日の午前7時まで利用可能なので、他のサービスが通常使えない時間帯にも相談できる仕組みとなっています。この相談グループもまた、現役 JET 参加者のボランティアで構成され運営されています。

それに加え、AJET 全国役員会は、現役 JET 参加者に自分の意見を述べる機会を与えるため、参加者が抱えている課題等に関する調査を定期的に行っています。その結果をウェブサイトで公表するほか、毎年2回ほど開催される AJET 全国役員意見交換会の際に JET プログラムを実施している3省（総務省、外務省、文部科学省）およびクレアにも紹介します。今年度6月5日に開催された第1回の意見交換会の時には、AJET の代表が、JET 参加者の職場への融和に関する調査の結果について発表しました。その結果を基に、AJET は、JET 参加者のための異文化間研修の増加をはじめ、学校や地方自治体が JET 参加者をより積極的に職場関連のイベントに招待すること、JET 参加者の配置先で日本語を勉強で



AJET 全国役員意見交換会の様子



きる機会を増やすことなど、いくつかのポイントを提案しました。発表の後、3省の代表者とともに、JET プログラムコーディネーターの制度、JET 参加者へのサポートやボランティア活動等に関して意見交換が行われ、非常に有益な議論となりました。

このように AJET が JET コミュニティを全国レベルでサポートしています。

都道府県レベルの AJET 支部によるサポート

また、地域レベルで現役 JET 参加者をサポートするため、各都道府県に支部があります。National AJET と同様に、地域レベルの支部も、その地域の JET 参加者によって選出または指名された熱心な JET 参加者のボランティアによって運営されています。日本各地の特徴や地域資源等について JET 参加者に非常に役に立つ情報を提供することに加え、自身でイベントを企画することにより JET 参加者と地域の方々が交流を深めることにも常に重点をおいています。これらのイベントの良い例が宮崎にあります。

宮崎 AJET 主催の「アメージング・レース宮崎」の魅力

「アメージング・レース」とは、参加者が世界中の国々でさまざまなチャレンジを達成しなければならないという人気のあるアメリカのテレビ番組です。宮崎 AJET がこのテレビ番組にインスパイアされ、3～4人の参加チームが宮崎県を回って謎を解いたり、手がかりを追ったりするというイベント「アメージング・レース宮崎」を企画しました。日本人と外国人が一緒にチームを組みますが、日英両言語を使って各チャレンジを達成することになっていますので、国籍を越えて各チームのメンバーの協力を促す取り組みになっています。さらに、このイベントのそれぞれの開催場所については、あまり知られていない新しい店や観光地を参加者に紹介できるように選択されています。

今年で6年目になるこのイベントには、地元の大学生、JET 参加者以外の外国人住民および近隣の都道府県から訪れた JET 参加者なども含め 70 人以上も参加しまし

た。今年は、宮崎の南部にある人気観光地の青島で開催されました。また、宮崎の日本人の方々の参加もさらに促すため、宮崎市国際交流協会（MCIA）などの地域団体と提携しています。



宮崎 AJET の活動の様子

これは地域の AJET 支部の一例にすぎませんが、AJET は JET 参加者と日本人が交流して友人になれる機会を数多く提供するため、それぞれの地域のコミュニティのメンバーと協力しています。他のイベントの事例では、今年で 20 回目となる大分県 AJET 主催のチャリティサイクリングイベントもあげられます（今回の参加費は 2016 年熊本地震義援金のため、日本赤十字社に寄付される予定です）。このように、日本全国の AJET 支部では、JET 参加者の支援のみならず、全体的に国際化にも大いに貢献するイベントを企画しています。

国際化を支援する AJET

JET プログラムの目標の 1 つは、日本の自治体における国際化を促進するということですが、AJET は、情報提供をはじめ、サポートのサービス、イベント企画などを通して、国レベルでも地域レベルでもこの目標を実現し、現役 JET 参加者とそれぞれの地域の日本人の方々の間に橋渡しをしています。JET プログラムへの参加者数が年々増加するにつれて、このプログラムの円滑な実施に貢献する AJET のような支援団体は、本プログラムが継続し日本の自治体のコミュニティにいい影響を与えるため不可欠な存在だと考えられます。